※令和４年度以降入学生用

学校番号	1203

令和８年度　国際教養科

教科	国際教養	科目	日本語 II	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	自主教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本語で読む、書く、聞く、話す 4 技能を用いて、コミュニケーションを積極的に行う。
・上級の日本語能力試験に現れる表現を学び、小説や新聞、論説文などに使われる様々な表現に触れ、就職や進学を視野に入れた指導を行う。
・日本だけでなく世界の情勢や文化の理解を深める。また、自己の思考を深め表現する力を養う。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・基本的な文法、語彙、文章表現等の言語知識を身につけ、上級の 4 技能「読む」「書く」「聞く」「話す」の習得をめざす。
【思考力、判断力、表現力等】
・日本語の思考力、判断力を身につけ、作文、小論文の文体や厚生方法を学び、効果的な表現ができるようになる。また、日本語でディスカッションを行い、自分の意見を述べることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・日本語の高度な表現に触れて、言葉の幅を広げ、日本の社会で積極的に使おうとする力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

※令和 4 年度以降入学生用

観点の趣旨	・基礎的な文法、語彙、言語知識を身につける。 ・日本語の文体の違いを学び、効果的な文体を使うことができる。	・自分の考えを文章にする。 ・小論文にふさわしい文型で表現する。 ・新聞や評論の内容を読み、その記事について自分の考えを述べる。	・読む、話す、聞く、書く、4 技能の言語活動の習得の過程で、実用的な言語コミュニケーションを主体的に取り組もうとする。 ・自分の考えをわかりやすく発表しようとしている。 ・他の人の考え方にも触れ、取り組む姿勢を養う。 ・1 年間の集大成としてテーマを決めて、自分の考えを論文形式で書こうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	基礎語彙	・自分の考えを伝える。	a:誤字脱字がなく、語彙、文法を正しく使うことができる。 b:自分の意見を正しい表現で書くことができる。 c:積極的に発信している。 自分の考えを相手に伝えるために積極的に取り組もうとしている。	確認 テスト：作文 自主教材 プリント	確認 テスト 作文	・プリント ・作文 ・発表
	語彙・文法・読解	・文体	a:誤字脱字がなく、語彙、文法を正しく使える。文体に合わせた言葉遣いができている。 b:自分の意見を正しい表現で書くことができる。 c:積極的に取り組もうとしている。	確認 テスト. 作文 自主教材 プリント	確認 テスト 作文	・プリント ・作文 ・発表
2学期	語彙・文法	・文構成	a:誤字脱字がなく、語彙、文法を正しく使うことができる。 b:自分の意見を正しい表現で書くことができる。 c:小論文にふさわしい文の構成で書こうと粘り強く取り組もうとしている。	確認 テスト、作文 自主教材 プリント	確認 テスト 作文	・プリント ・作文 ・発表

※令和４年度以降入学生用

	語彙・文法・読解	・考え方 ・表現する①	a:誤字脱字がなく、語彙、文法を正しく使うことができる。 b:自分の意見を正しい表現で書くことができる。 c:新聞や評論の内容を読み、その記事について自分の考えを述べようと積極的に取り組もうとしている。	確認 テスト、作文 自主教材 プリント	確認 テスト 作文	・プリント ・作文 ・発表
３学期	語彙・文法・読解	・表現する②	a:誤字脱字がなく、語彙、文法を正しく使うことができる。 b:自分の意見を正しい表現で書くことができる。 c：1 年間の集大成としてテーマを決めて、自分の考えを論文形式で表現しようと取り組もうとしている。	確認 テスト、作文 自主教材 プリント	確認 テスト 作文	・プリント ・作文 ・発表 ・小論文

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度